



わたしが考える^{うちゅう}宇宙の^{ふしぎ}不思議

宇宙人はいるのか？

わたし ^{こども} 私は子供時代から世の中は
^{ふしぎ} 不思議なことが多く、^{とく} 特に宇宙は不
思議のかたまりでした。

^{ようしょう} 幼少の頃、^{ころ} 火星の^{そんざい} 存在を^{しん} 信じ
ていましたが、時代が進むにつれて
その存在は、^{ひてい} 否定されるようになり
ました。

それでも、宇宙のどこかに宇宙人
がいるのだという思いが強く、中学

生になったとき、理科教師に「宇宙人はいるのですか」と質問したことがありま
した。先生は、「^{たいようけい} 太陽系の^{ちきゅう} 地球に^{じんるい} 私たち人類がいるように、宇宙のどこかに宇宙
人は^{かなら} 必ずいる。」といった回答でした。

当時から^{こくさいてき} 国際的にも宇宙人を発見しようという^{きうん} 機運は高まっており、アメリカ
では「オズマ計画」により^{ちきゅうがいちてきせいめいたいたんさ} 地球外知的生命体探査が1960年から始まりました。

また、当時から^{みかくにんひこうぶつたい} 未確認飛行物体（UFO）の^{もくげきじょうほう} 目撃情報は数多くあり、マスコ
ミでも取り上げられ、私もその存在に^{きょうみ} 興味を持ちましたが、私自身は^{げんざい} 現在まで
^{もくげき} 目撃したことはありません。というのは、^{わか} 若いころから^{てんたいかんそく} 天体観測を行う中で多
くの^{ひこうぶつたい} 不思議な飛行物体を^{かくにん} 確認してきてはいるのですが、^{かがくてき} 科学的な判断からそれは、
^{じんこうえいせい} 流れ星や^{わた} 人工衛星、^{金星} 金星、^{みまが} 渡り鳥などの^{みまが} 見間違いであり、^{けっかてき} 結果的には未確認の
ものはなく、不思議ではなくなりました。

^{さいきん} 最近の天文学では宇宙には、^{わくせいけい} 太陽系のような惑星系の存在がある^{こうせい} 恒星が次々と
^{めいかく} 観測、確認されています。こうしたことから宇宙人の存在はやがて、きっと明確
になってくるものだと^{かくしん} 確信しています。
(^{かいせつじん} 解説員：^{たなかちあき} 田中千秋)



M31 アンドロメダ銀河 (筆者撮影)